

宇都宮市立富士見小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいとおもいますか。」の肯定割合が88.8%で全国の割合より9.7ポイント上回っている。新しい問題や難しい問題に意欲的に取り組む姿勢が伺える。これは、学校全体で算数の思考力を高める授業の在り方について研究し取り組んだ成果として考えられ、今後も児童の意欲を高める授業を展開していきたい。

○「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。」の設問に対し「ほぼ毎日」の使用が42.8%と、全国の割合を31.4ポイント上回った。日頃から視聴覚教材を活用し、授業実践している表れと思われ今後も同様に実践していきたい。

○「国語の勉強は好きですか」について、肯定割合が76.9%と全国の割合を12.7ポイント上回った。「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて必要な語や文を見つけたり、文章の段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか。」についても全国の割合を上回っていることから、考えながら読むことへの興味の高さが伺える。今後も文章を深く読み進められる児童の育成を心がけたい。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか。」について92.5%と全国の割合を6.7ポイント上回っており、学校生活を楽しく送っている様子が伺える。また、「家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。」の肯定的回答率が83.6%、「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。」の肯定的割合が94%でそれぞれの全国の割合を6.2ポイント、7.9ポイント上回っており、家族や教職員との良好な関係が築けていると思われる。

●「学校の授業以外に普段1日あたりどれくらいの時間読書を読みますか。」について、10分より少ない(全くしないを含む)と回答した割合が41.8%で全国の割合を7.5ポイント上回っている。読書経験は、語彙力や感受性等を高めていく上で大切であるため、朝の読書や図書室の利用を推奨するなどして本を手にする機会を増やしていきたい。

宇都宮市立富士見小学校（第6学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	各学年ごとに「家庭学習のすすめ」を配付して、学習のめやすや取り組み例を示して、主体的に取り組めるようにする。	「学校の授業以外に普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」の質問に学校で目標としている1時間以上の目標に到達している児童が73.9%とほぼ8割を超える割合となった。
基礎基本の確実な定着	朝の学習時における漢字や計算練習の実施・ステップアップシートの活用	漢字の書きについては、国の正答率を下回っている。数と計算の領域については、国の正答率を上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
自分の考えを文章にまとめて書くことや、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広げたりすること、自分の考えや意見を発表するなど表現力に関わる項目では、二極化が見られる。	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習法の工夫・改善	・明確な目的のある「対話的な学び」の場の設定 ・自分の思いや考えを表現し学び合う学習活動の実施 ・対話的な学びを深める教師のコーディネート力の向上
読書の習慣が身に付いていない。	読書する機会・時間を増やしていく。	・学級文庫の拡充 ・学年図書を紹介 ・読書する時間の確保